

夜間中学校の取り組みを支援する会との協議等議事録（要旨）

教育委員会事務局

- 1 日 時 令和7年10月16日（木）午前10時 ～ 正午
- 2 場 所 大阪市役所地下1階 第1共通会議室
- 3 団 体 名 夜間中学校の取り組みを支援する会
- 4 協議等の趣旨 夜間中学校の教育条件及び学ぶ権利の保障について
- 5 出 席 者
（団体側）
代表者 他16名
（本 市）
教育委員会事務局 7名

6 議 事

（1）日本語指導及び教員体制の充実について（項目1. ①、③及び項目3）

団体要望概要

- ・心和中に統廃合するにあたり、日本語指導の充実という説明があったが、37名の指導対象に対して1名の教員という状態で、どう充実させているのか具体的に教えてほしい
- ・心和中では人数や段階分けなど実際にどういった体制で日本語指導をおこなっているのか
- ・夜間中学校の教科別研修会を実施しているが、心和中からの参加がないのはどうしてか
- ・やはり人数が足りないと時間的余裕がなくて研修に参加できない人などいる人員の確保、配置などが必要だと考えるが、心和中の勤務実態はどういう状況か
- ・心和中について、およそ3分の2となる41名の方が除籍されたが説明のつくような数字なのか
- ・4月に入学して、1年後に3分の2がいなくなるというのは事情があるにせよ異常ではないか
- ・文の里・天王寺においても、合わせると統廃合時に30数名の除籍者がいる、心和中は1年で41名の除籍者が出たということについて、真摯に受け止めてほしい（意見のみ）
- ・東生野・天満では除籍者がそこまで出ていないというのは、授業に魅力があると考えられる。研修会等の交流により、魅力ある授業や日本語指導の充実に繋がり除籍者の減少となっていくところが考えられるので、また工夫してほしい（意見のみ）
- ・除籍者41名の中に若い方が含まれているかと思うが、義務教育が終わらないまま外に出ていくことになると、その先の道が開けない。教育行政としてそういうところは応えていく必要があるのではないかと、また現場がもっと生徒と関わって実態を把握できるような体制を作してほしい（意見のみ）

- ・夜間中学校へ異動を希望する先生はいないのか
- ・現職の中で夜間中学校にて仕事をしたいという教職員の発掘も進めてほしい

本市説明概要

- ・外国籍の人数が急増していることもあり、途中増加への対応など、対応できていない部分もあるのが現状であり、来年度に向けては拡充等も検討している。
- ・習熟に応じて5展開している。日本語指導の人数は国語として1名、他教科で3名日本語指導をおこなっている。
- ・学校へ確認をしたところ、希望がないとの回答である。
- ・人材の確保という観点では、日本語指導が必要な生徒が急激に増加している一方で、人材不足が深刻化していることもあり、十分に措置できていないことは認識している。
今後、人事異動事務の流れの中で日本語指導が可能か、希望するかなどを確認し、人材の掘り起こしをしていきたいと考えている
- ・除籍数について確認をとったが、理由は様々であり基本的には自己都合がほとんどである。
- ・個別に事情を伺い、引き留めるなど真摯な対応をしているところである。仕事が見つかったから辞めるなど、様々な理由によりご自身で判断をされている。
- ・異動希望の人数は、今は持ち合わせていない。
- ・夜間中学への希望についても、日本語指導と同様に、人事異動の流れの中で確認し、人材を発掘していきたい。

(2) 不登校経験者等が通いやすい環境の整備について。(項目1. ②)

団体要望概要

- ・不登校の生徒に対して、夜間中学校を進路の選択肢の一つとして提示しているか

本市説明概要

- ・不登校の生徒への対応については、各校で不登校対策委員会を開き、子どもたちと十分に検討・相談をしたうえで進路指導を進めている。

(3) 学びの多様化学校と夜間学級を併設したことの効果について。(項目3)

団体要望概要

- ・異年齢交流で夜間の生徒にどのような効果があがっているのか教えてほしい
- ・夜間の生徒が除籍となる場合と、不登校の子が来なくなった場合の扱いが違うように思えるが夜間の生徒についても生活指導や生徒指導など一人ひとりに対応してもらっているのか
- ・心和中学校の夜間学級について、昼間と比較して様子や報告などが少なく情報を知る機会があまりないと感じるのでもう少し触れるようにしてほしい(意見のみ)

本市説明概要

- ・お互いにあまり会話、挨拶などがなかったが、交流することによって、合同授業なども

笑顔で受けるなどの変化があり、交流に異議があると感じている。

- ・個々に話を聞いた上で、丁寧に対応している。

(4) 日本語指導員について (項目 4)

団体要望概要

- ・日本語指導資格を持っている方から、夜間中学はどのように教員を募集しているのかと聞かれたことがあるがどのようにしてなれるのか、また募集や情報発信はどのようにおこなっているのか

本市説明概要

- ・人事配置の関係があるので必ずということではないが、教員免許をお持ちの方であれば講師登録をして、各学校で採用という形が1つある。
日本語指導員については大阪市のHPで随時募集をしている。

(5) 夜間中学校の新設について (項目 5)

団体要望概要

- ・天満中はこれ以上受け入れができない状態の中、心和中にはなかなか行かない現状がある。
北部地域に夜間学校を新設する必要があるのではないか
また、令和7年度は夜間中学校に合計127名の新入生があったが、どう対応していくのか
- ・学齢の方(15歳)が、夜間中学校に入れて欲しいと問い合わせに来た実態がある。
区役所の対応に問題があるのでお伝えいただきたい。(意見のみ)

本市説明概要

- ・全体としての数が増加しているという認識はある。
明確な回答はしかねるが、把握はしているので状況を踏まえて対応していく。

(6) 給食について (項目 6)

団体要望概要

- ・中学校給食について、全校一斉導入したのに、なぜ夜間は省かれるのか
- ・今後、国が給食費を負担するとなった場合、夜間は省かれるのか
- ・大阪府下の夜間中学校は全て給食がないのか

本市説明概要

- ・本市の中学校夜間学級の夜食給食は、平成21年度まで大阪府の補助金を受けて実施していたが、補助金の廃止に伴い市単独では事業継続が困難となったため廃止した。
- ・国の動向は時点で明確になっていない。
- ・実施状況は各市により異なる。

(7) 夜間中学校の周知について (項目 9)

団体要望概要

- ・令和4年～7年の大阪市教育振興基本計画について、夜間中学校に関する文言が見当たらなかったが、明記があってもいいのではないかと（意見のみ）

(8) 就学援助について（項目8）

団体要望概要

- ・在籍期間中は就学援助が支給されるように取り組んでいただきたい（意見のみ）

(9) 教育扶助費について（項目7）※福祉局項目

団体要望概要（別途文書により回答を予定）

- ・既卒の方と形式卒の方について支給に差が出ているのはなぜか
- ・1人で生活していく力を身に着けるなどの社会的自立も含めて自立ということであり、広くとらえる必要があるが、この回答ではそういう考え方をしているか不安が残る（意見のみ）
- ・利用し得る他の制度等があれば保護に優先していただくとあるが、支給時期が遅い就学援助では無理があると考えているが、どう考えるか。

(10) その他（項目3・6）

団体要望概要（別途文書により回答を予定）

- ・心和中学校の除籍者41名のうち、元天王寺・文の里から異動した19名が含まれているのか含まれているのであれば、除籍した理由を知りたい
- ・現在、天王寺夜間中学校の校舎はどう使っているのか、また、新校舎の設立という理由があったかと思うが、建て替える話はどうなっているのか
- ・中学校完全給食実施という話だったはずだが、なぜ夜間中学校は外されたのか。また実施しない理由としての市民の税負担の観点とはなにか